



## ＜若越戦国めぐり－1556～1573－ 関連戦跡＞

### ・碎導山城跡、高浜城跡（高浜町）

永禄4年（1561）、武田家重臣の逸見駿河守と粟屋越中守勝久は、逸見氏の居城、碎導山城に拠って叛乱を起こしました。武田義統は、縁戚関係にある越前朝倉氏に援軍を頼み、これを破ります。逸見氏は、国外に落ち延びた後に戻り、高浜城（現城山公園）を築いて再び叛乱しました。粟屋氏は国吉城に戻り、朝倉氏が攻めるも撃退し、以降10年に及ぶ籠城戦が繰り返されました（国吉籠城戦）。



碎導山城跡

### ・後瀬山城跡（小浜市）

小浜市街地の中心にある後瀬山（標高168.5m）一帯に築かれた若狭国守護武田氏の居城。北麓の空印寺一帯が平時の居館跡で、山頂部の尾根筋に曲輪群が広がります。山上主郭付近に石垣が築かれ、近年の居館跡の発掘調査でも周囲を廻る堀跡と石垣が確認されました。これらの石垣は、織田家重臣丹羽長秀が城主の頃に築かれたと考えられます。江戸時代、新領主京極高次は新たに小浜城の築城を開始し、廃城となりました。



後瀬山城跡

### ・国吉城址（美浜町）

朝倉氏と10年に及ぶ激しい戦いを繰り返した粟屋勝久の居城。若越国境に位置し、越前敦賀から若狭中心部に入るには、必ず国吉城の麓を通らなければなりません。



国吉城址

### ・金ヶ崎城跡、天筒山城跡（敦賀市）

金ヶ崎城は、南北朝期も戦場となり、戦国時代は敦賀郡司朝倉氏の居城。天筒山城跡は、金ヶ崎城とは尾根続きで、金ヶ崎城の詰めの城的存在。元亀元年4月25日、織田勢は国吉城から侵攻し、天筒山城を僅か1日で攻略する。これに驚いた金ヶ崎城は、翌日に降伏開城した。



金ヶ崎城跡

### ・一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）

戦国大名朝倉氏5代の居城と城下町。天正元年の織田勢の侵攻で灰燼に帰した。福井県による長年の発掘調査で、戦国城下町の実態が明らかとなり、史跡整備が進んでいる。



一乗谷朝倉氏遺跡

※国吉城址は、若越国境である両社の中間位置にあり、粟屋勢（武田方）と朝倉氏が実際に激突した地でもあります。国吉城址や国吉籠城戦の詳細は、「国吉城址と佐柿の町並み」パンフレットをご覧ください。

【美浜町教育委員会事務局 若狭国吉城歴史資料館】